

2023 年 2 月 9 日

通貨ニュース

新興国：中国経済の正常化期待等から PMI に改善の動き

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数 (PMI) によれば、12 月製造業 PMI は 49.1 と前月 (48.7) からやや上昇した。先進国 (47.3→48.1) では新規受注と生産がともに改善。新興国 (49.8→49.9) は生産が横ばいも、新規受注が 6 か月ぶりに拡大/縮小の目安となる 50 を超えた (図表 1、2)。また、非製造業 PMI は 50.1 と 4 か月ぶりの 50 超を回復。先進国が前月比で持ち直した (47.2→48.7) ほか、新興国の改善加速 (50.1→53.1) が支えとなった。

これらを合わせたコンポジット PMI は 49.8 と前月 (48.2) からさらに改善。2022 年 7 月以来となる 50 回復が近づいてきた。世界経済の実質 GDP 成長率は 2022 年 4～6 月期以降、前期比マイナスが続いた可能性があるものの、2023 年 1～3 月期にはプラス成長を回復する芽が出てきたといえる (図表 3)。

こうした改善の背景に、中国におけるゼロコロナ政策の撤回があることは言うまでもない。急速な感染再拡大や経済の一部混乱は見られたものの、春節を巡るモビリティ回復を経て、すでに感染はピークアウトしたとの指摘もある。with コロナへのシフトは予想以上の進捗を見せており、中国経済の正常化期待は日増しに高まっている感がある。特に非製造業でその傾向は強い。新興国の非製造業 PMI の活動見通し指数は 2013 年以来的の水準まで上昇した (図表 4)。

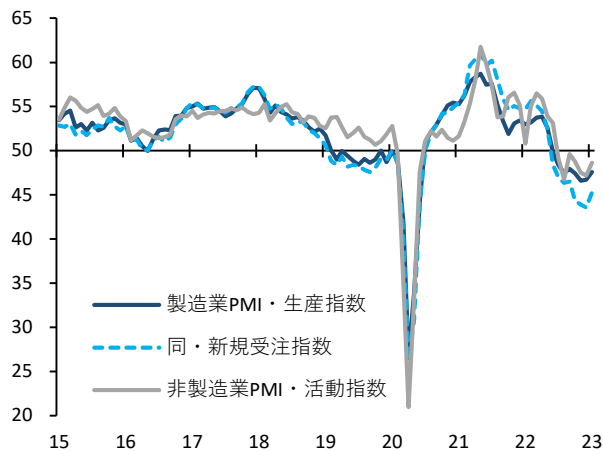
他方、製造業については先進国での改善に注目したい。懸案の製造業 PMI の新規輸出受注は底打ちが確認されつつある (図表 5)。経済正常化が期待される中国向けのほか、IMF も最新の経済見通しで指摘した欧米諸国の底堅い消費動向が背景にありそうだ。供給制約の改善は確実に進展 (図表 6)、足許では原材料在庫の圧縮の動きもピークを打ちつつある (図表 7)。製造業 PMI の生産見通し指数では、先進国が 8 か月ぶりに新興国を上回った (図表 8)。

なお、個別の新興国では、中国での改善が目立ったのは上述の通り。非製造業 PMI の改善 (48.0→52.9) が寄与した。製造業 PMI (49.0→49.2) は依然として 50 を下回っている (図表 9)。中国の経済正常化の恩恵が最も大きいとみられる香港の全産業 PMI (51.2) も 5 か月ぶりに 50 超を回復した (図表 10)。また、インドの PMI は前月からやや低下したとはいえ、製造業、非製造業ともに高水準を維持している (図表 19)。製造業では新規輸出受注 (51.2) が 50 超をキープ、在庫購入数量指数 (57.3) と原材料在庫指数 (58.4) も高水準と、他国とは一線を画す状況が続いている。フィリピンの製造業 PMI も堅調 (図表 13)。

一方、ブラジルの製造業 PMI (47.5) の持ち直しが鈍い (図表 24)。受注残 (37.8) や新規輸出受注 (39.4) が低迷、生産の回復の足枷になっているようだ。非製造業 PMI (50.7) も低下が続く。また、生産見通しと活動見通しのいずれもが低下しつつある点にも注意したい。1 月に発足した左派政権による経済政策を見極めたいという面もありそうだ。このほか、南アフリカの全産業 PMI (48.7) やメキシコの製造業 PMI (48.9) で 50 を下回る動きがみられた (図表 22、23)。

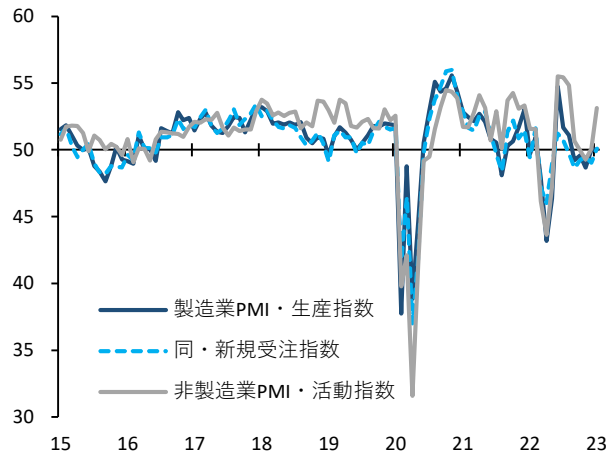
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 非製造業 PMI・活動見通し指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・新規輸出受注指数と世界の貿易量

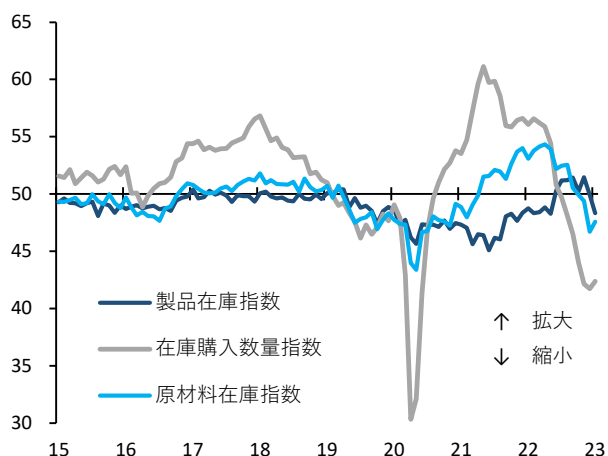

(注) 貿易量は直近 3 か月とその前の 3 か月とを比較した伸び率
出所: S&P Global、CPB、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・入荷遅延指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 先進国の製造業 PMI・在庫関連指数



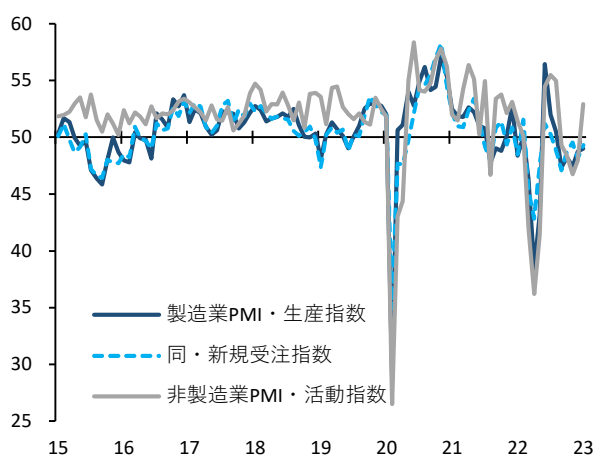
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 製造業 PMI・生産見通し指数



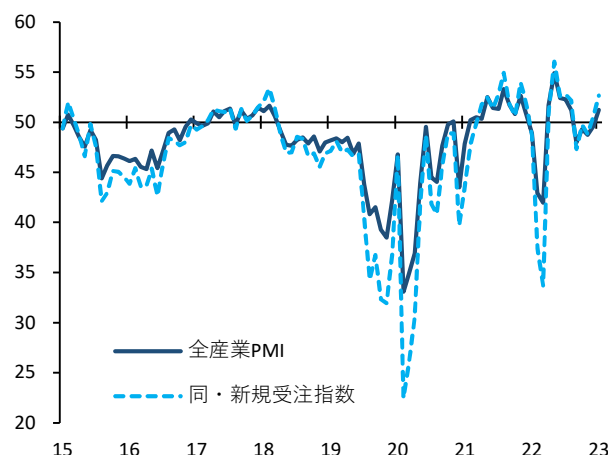
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



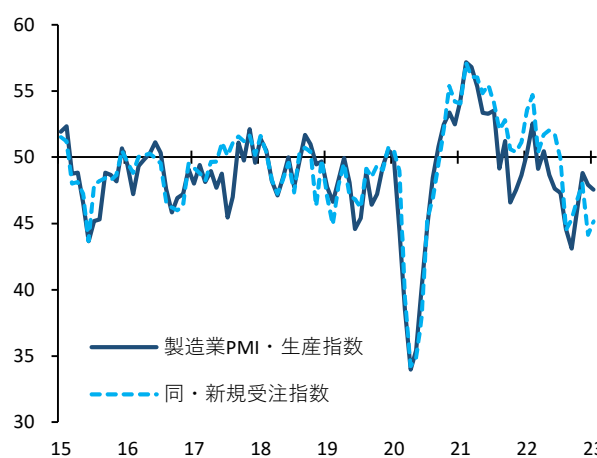
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国



出所: S&P Global、みずほ銀行

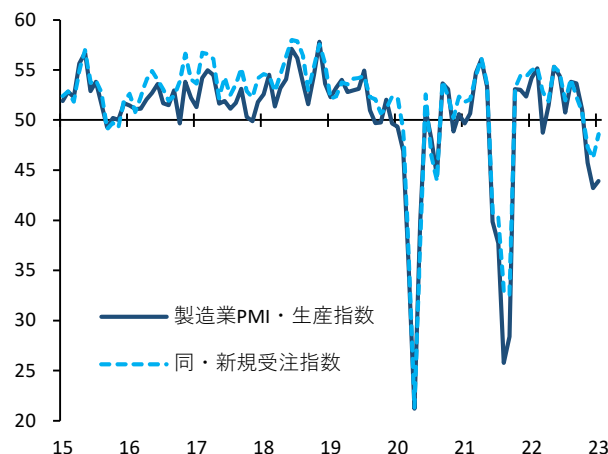
図表 12: 台湾



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン

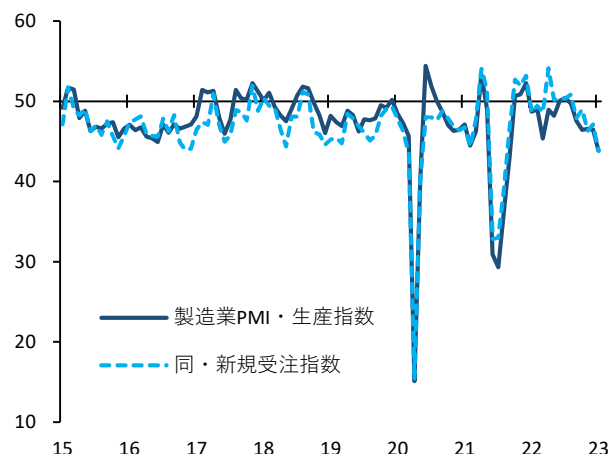

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム


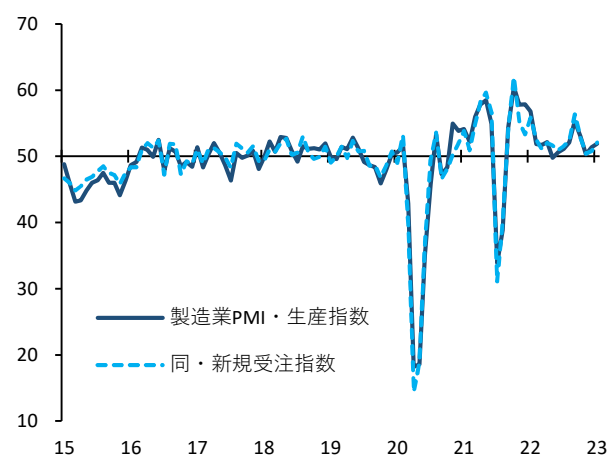
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ

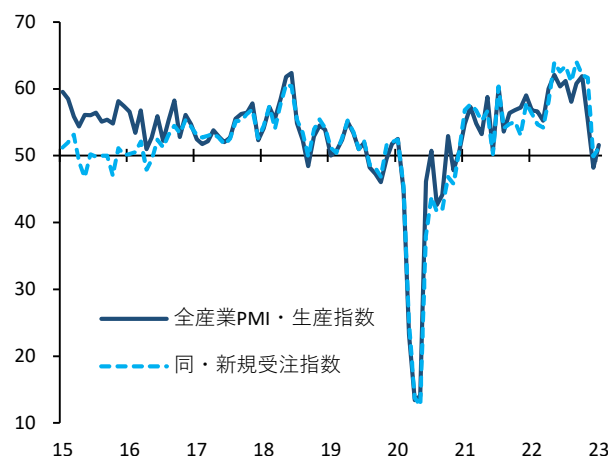

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア


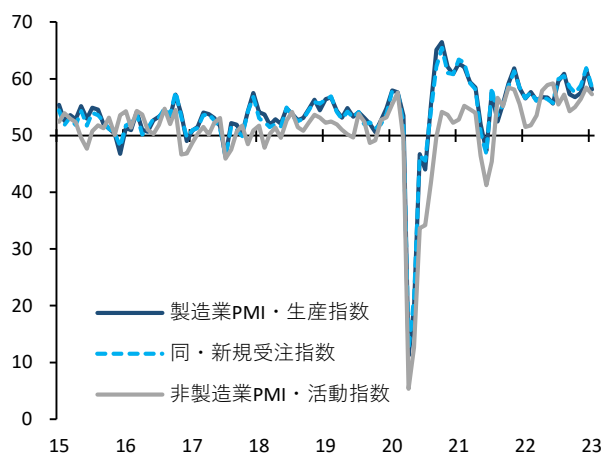
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア


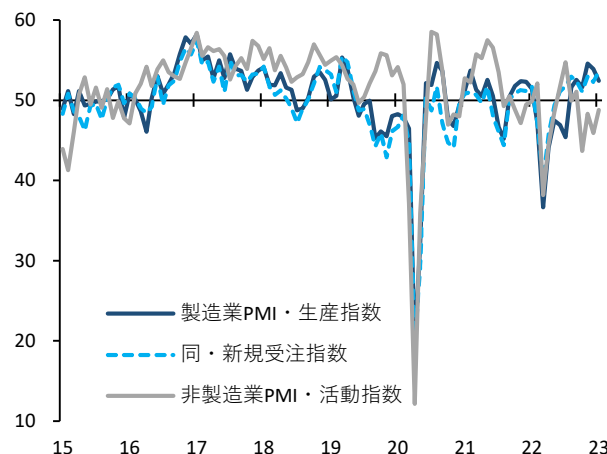
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド


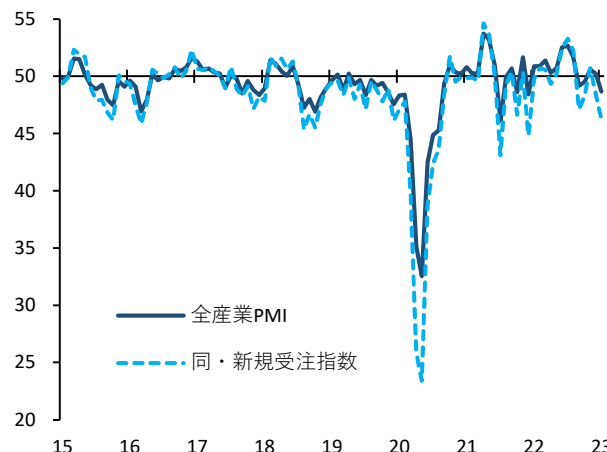
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア


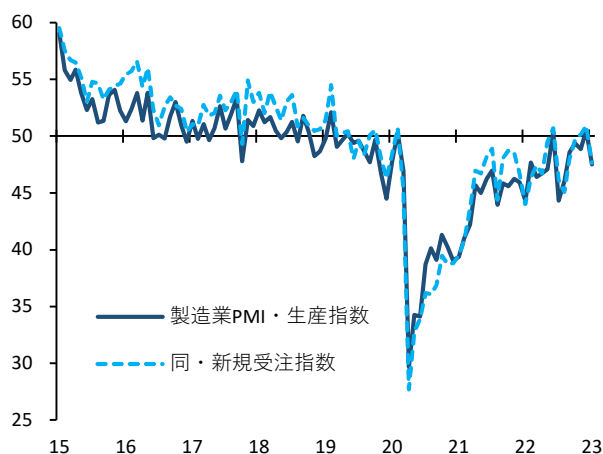
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル


出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。